

みどりの推進課報告事項(5月)

平成こども塾プログラム

No.	日(曜日)	プログラム名	定員	子ども	大人	未就学	備考
1	5日(土)	こどもファーム	35	19	12	5	
2	6日(日)	竹の昆虫作り	15	10	12	3	
3	12日(土)	茶摘みと茶道体験	親子50	24	21	3	応募75人
4	13日(日)	花束とメッセージカード作り	20	14	16	4	
5	19日(土)	代かき体験	30	17	15	5	
6	27日(日)	田植えと田植え食	親子50	27	31	14	
7	27日(日)	バードコールと野鳥観察	15	6	7	3	
8							
9							

学校連携なし(アンケート回答待ち)

平成30年度平成こども塾事業進捗状況管理表

	事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備 考
						4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	学校連携プログラム実施事業	現在の生活の中では、児童同士や世代を超えたコミュニケーションが難しくなっている。	満足度90%から95%を保ち続ける。 (学校連携プログラム数:全67回)	・チームによる活動を重視し、共同作業・助け合いを行うことによりコミュニケーション能力を高める。 ・里山の自然環境や地域の文化を学びながら楽しく充実した体験活動を実施する。	満足度 — (回答待ち)	事前打ち合わせ		学校連携プログラムの実施		学校連携プログラムの実施					学校連携プログラムの実施	次年度実施内容・日程等調査		
2	サポータープログラム実施事業	自然体験活動や地域の伝統文化を体験する機会が減っている。	満足度90%から95%を保ち続ける。 (サポート隊委託プログラム、サポーター自主プログラム数:110回)	・体験プログラムを班分け時に工夫し、異年齢交流の促進を図る。 ・里山の自然環境や地域の文化を学びながら楽しく充実した体験活動を実施する。	異年齢間でのコミュニケーションが取りやすいようグループ分け等に配慮した。 天候にも恵まれて参加者には予定通り体験活動を提供することができ、満足度も高かった。 満足度 93%	世話人会		プログラムの実施										
3	サポート隊員育成事業	サポート隊員の後継者が育っておらず、高齢化が進んでいる。	新規加入者2名を目指す。	・新規加入者を増やすための、大人のプログラムの実施。 ・年3回実施。 ・口コミ勧誘の継続	平成こども塾に関する広報紙等で興味を示し来館。体験の意味も含め、こどもファームの活動に参加してもらった結果、正式に市内在住の男性(30代)1名が加入した。	プログラム内容の検討				プログラム実施			プログラム実施			プログラム実施		